

サポートチームだより

部活動地域移行の取組を「チーム」でサポートを ～令和7年度第1回サポートチーム会議開催～

〈市町村に寄り添って取組を〉

令和7年(2025年)5月12日(月)に十勝教育局において「令和7年度第1回十勝管内部活動改革推進地方本部(部活動の地域移行に係る市町村サポートチーム)会議(以下「サポートチーム会議」)を行いました。会議にはサポートチームメンバーの9名が出席。主担当である 教育支援課主査(地学協働) うどう まさや 有働 雅哉 (=写真右下) から令和6



会議の様子



報告する有働主査

第1回サポートチーム会議出席者	
次長	遠藤 新理
教育支援課長	齊藤 真寛
教職員係長	竹下 方章
教育支援係長	岩澤 一史
主査(地学協働)	有働 雅哉
学校教育指導班主査(高校)	守屋 正人
学校教育指導班主査(義務)	熊崎 高士
社会教育指導班主査	皆川 敬太
社会教育主事	福原菜都美

年度の取組及び令和7年度における取組予定の内容についての報告・意見交換等を行いました。報告では主担当と社会教育指導班が協働して取り組むことや、「十勝教育局から働きかけ」することを意識した取組を行うことを確認しました。会議では「部活動地域移行(展開)は「まちづくり」の観点で進めることができれば」や「(特に1町1校の)高校との地域展開も」という意見が出されました。最後にチームリーダーの えんどう しんり 次長 遠藤 新理 は「市町村ができることから取り組めるよう、寄り添うことを心掛けてほしい」と今後の取組についてサポートメンバーへ伝えました。

取組や地域移行の現状と課題に係る共通理解を ～教育局担当者会議実施される～

〈「まちづくり」の観点を意識して〉

令和7年(2025年)5月14日(水)に部活動改革推進課による「令和7年度第1回部活動の地域移行に係る教育局担当者会議」がオンラインで行われました。会議は全道各教育局のサポートチームリーダーである次長を対象とし、各種取組や地域移行の現状と課題に係る共通理解を図るために開催されました。十勝教育局からは次長 遠藤 新理 が出席しました。会議は業務連絡とブロック協議が行われ、ブロック協議は十勝・釧路・根室の3局が「道東ブロック」として実施。現状の共有や意見交換を行いました。協議の中で遠藤次長は「部活動地域移行は「まちづくり」の観点を意識して取り組むべき」とし「市町村ごとに各局が寄り添って個別に取組をサポートすることが求められる」と述べました。会議のまとめでは、他のブロックから「管内をまたぐ連携」や「学校運営協議会を活用する」などの意見が出るなど、今後の取組に有益な意見等が出されました。最後のあいさつで 部活動改革推進課長 山内 尚史 は「地域の実情に応じた取組が大切」とし、今後のサポートチームに望む取組について述べました。



会議に出席する遠藤次長



ブロック協議(【左上】遠藤次長)

【発行・お問い合わせ先】
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課 主査(地学協働)
住所:〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話:0155-26-9243 E-mail:udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp